

科目名	授業時数	教科書名	副教材名
中学2年 音楽	2	中学生の音楽2・3上(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)	Joyful Songs(新学社) プリント他

1. 授業の目標

- ・歌唱、器楽、鑑賞を通して「芸術としての音楽」を体験し、音楽を愛好する心情を育てます。
- ・歌唱や器楽では音楽の基礎的な表現の技能を身につけ、創意工夫された自己表現力を養います。
- ・鑑賞ではその美しさを体得し感受性を豊かにするなど、幅広く主体的に鑑賞する能力を高めます。
- ・実技テストや鑑賞指導により感受性や表現力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感得することを目標とします。
- ・国際社会に通じる日本と世界の音楽を学習し、国際理解を深めます。

2. 授業のすすめ方

- ・授業内容に応じて、一斉指導、グループ指導、個別指導、自主的学習を組み合わせた授業を展開します。
- ・各々の生徒に対応した実技テストや鑑賞指導により、その生徒が持つ感受性や表現力の可能性を引き出し、音楽の持つ美しさやその多様性を感得させることを目標とします。
- ・ICT教育に際しては、iPadや電子黒板を適宜利用して授業を展開します。

3. 学習上の留意点

- ・授業中、鑑賞中、演奏中において「聞く(聴く)」ことに集中する。
- ・自ら音楽を実践(演奏)すること。
- ・積極的に授業に参加し、音を楽しむ心を大事にすること。
- ・提出物の期限は遵守すること。
- ・授業には必ず教科書、筆記用具、iPadを持参すること。忘れ物をしないこと。
- ・遅刻・欠席はできるだけしない。時間に余裕を持ち行動すること。遅刻をした場合は減点とする。
- ・音楽室の備品を大切に扱う。許可なく勝手に触れないこと。

4. 副教材・参考書

- ・単元に合わせたプリントを配布・配信します。
- ・合唱の授業を中心に「Joyful Songs」を使用します。

5. 評価方法

- ①実技テスト(歌唱、器楽)での積極的な態度と、音楽的であり創意工夫された表現力を発揮できたか。
 - ②鑑賞においては、その楽曲の構成や音楽的な工夫、歴史的な背景に興味を持ち、適切な感想を書くことができたか。
 - ③真摯な授業態度であるか。(話を聞く姿勢、提出物期限の遵守、忘れ物をしない、遅刻をしない等)
- 上記3点の総合評価が成績となります(実技点60点+平常点40点の合計100点)。

年度末に各学期の評価から学年成績(評定)を5段階評定で算出する。その他に、「知識・技能」「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」の3つによる観点別評価をそれぞれA、B、Cの3段階により評価します。

6. 定期考査

実施しません。

指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	【 歌唱・合唱 】 ○「翼をください」(若松正司 作曲) ・日本語の発音と発声方法。 ・曲想の変化に合った表現。 ○「サンタ・ルチア」(ナポリ民謡) ・イタリア語の発音と発声方法。 ・歌詞の意味と楽曲の形式を理解する。 ・実技テスト	各学期 100 点満点で採点する。 【 歌唱 】 ・実技テスト 【 鑑賞 】 ・鑑賞レポートの提出 ・感想文の提出	【 歌唱・合唱 】 ・音程が正確に取れる(記譜通りに歌える)。 ・歌詞を正確に歌える(外国語の場合は発音にも注意している。) ・曲想に合った歌唱表現を している。 ・大きな声で歌える。 ・自分のパート(声部)を明確に歌え、役割を理解できる。 ・自主的・主体的に合唱に参加し、音楽表現を高めることができる。 【 鑑賞 】 ・楽曲形式や内容に関心を持って鑑賞できる。 ・楽器の音色の違いが聴取できる。 ・楽曲に関する作品背景や歴史的・民族的・社会的意味について関心を持つことができる。 ・自己のイメージを最大限に膨らませ文章化できる。
	五月 六月 七月	【 鑑賞 】 ○歌劇「アイダ」(ヴェルディ 作曲) ・歌劇(オペラ)の特徴を知る。 ・作品構成と時代背景を理解する。 ○歌舞伎「勧進帳」 ・作品構成や時代背景など、日本の伝統芸能を理解する。 ・オペラとの比較。 【 楽典 】 ○音符・休符・音楽記号 ・音楽における基礎知識を身につける。 ・筆記テスト(予定)		
二 学 期	九月	【 歌唱 】 ○「夏の思い出」(中田喜直 作曲) ・日本語の発音と発声法。 ・歌詞の意味を理解して歌う。 ・作詞者の思いや時代背景について知る。 ・実技テスト	【楽典】 ・筆記テスト(予定) 【 器楽 】 ・実技テスト (予定)	【楽典】 ・音楽を演奏・鑑賞する際に必要な基礎知識が身につけている。 ・その基礎知識を自分の演奏に生かすことができる。 【 器楽 】 ・記譜通りに演奏することができる。 ・興味・関心を持って取り組むことができる。
	十月	○合唱曲「時の旅人」 ・混声三部合唱の音作り、歌い方の表現を工夫して歌う。 ・パート(声部)の役割を理解する。 ・実技テスト(予定)		
	十一月 十二月	【 鑑賞 】 ○「フーガ ト短調」(バッハ 作曲) ・作曲者、楽曲の形式、時代背景について理解する。 ・パイプオルガンについて知る。 ○雅楽「越天楽」 ・日本に古くから伝わる音楽の特徴を知る。 ・西洋のオーケストラとの音色の比較。 【 器楽 】 ○リズムアンサンブル (予定) ・音価とリズムを理解する。 ・アンサンブル ・実技テスト (予定)		
三 学 期	一月	【 歌唱 】 ○曲目未定 ・曲想の変化に合った表現。 ・実技テスト (予定)	【創作】 ・作品の発表・提出(予定) 【 平常点 】 ・授業態度 ・出席状況等	【創作】 ・楽典の学習を踏まえて創作することができる。 ・興味・関心を持って取り組むことができる。
	二月	【 鑑賞 】 ○「交響曲第5番 ハ短調」(ベートーヴェン 作曲) ・オーケストラの響きと楽器の音色を理解する。 ・作曲者、楽曲形式、時代背景を理解する。		
	三月	【創作】 ・リズム、メロディの創作 (予定)		

※シラバスの内容(時間や事項)については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。